

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	総合政策研究科
大項目	4 教育研究組織 (研究科)
中項目	
小項目	4.0.1 大学の学部・学科・研究科・専攻および附置研究所・センター等の教育研究組織は、理念・目的に照らして適切なものであるか。
要素	教育研究組織の編制原理 理念・目的との適合性 学術の進展や社会の要請との適合性 (KGI) 研究活動の状況
小項目	4.0.2 教育研究組織の適切性について、定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 適切な特定プロジェクトセンターの立ち上げ及び見直しにより共同研究を推進する	→特定プロジェクトセンター立ち上げ・見直し状況	B	B	B		
2. 研究会の開催によって教員の研究分野の相互理解を増進する	→研究会開催回数	B	B	B		
3. 2010年度よりドーナツアワー(院生と教員のコミュニケーションをはかる場)の開催等を通して院生と教員の間での開かれた関係を構築する	→ドーナツアワー開催回数	A	A	A		

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	2011年度には、7つの特定プロジェクト研究センターが立ち上がっており、共同研究体制が整いつつある。各センターについては、それぞれ目的にあわせた研究成果をあげており、共同研究の実をあげている。また、研究成果等については、研究科内で発表の機会を設けることで、総合政策についての共通理解を深め、新たな共同研究を推進する。
目標2	2011年度は、学外から招いたゲストスピーカーや新任教員を中心に合計15回の講演会、4回の教員向け講演会、ならびに9回の新任教員研究発表会を開催して、相互の研究活動への理解を深めた。今後はさらに研究会のプロモーションを促進して、異分野間の教員による共同研究を推進していく。
目標3	ドーナツアワーや学部研究会を通じて研究科内の議論を活性化するとともに、学外に向けては各種シンポジウムを通して研究成果の公開に努力する。
備考	現在、2010年度のカリキュラム改正の結果についてモニタリングを進めており、その評価にあわせて研究組織についても大幅な再編を検討しているところである。とくに学部と大学院の一体化による大学院教育の活性化が望まれる。

☆